

学生による卒業時の評価

目的：学生自身が2年間の学びを振り返り、自分の成長や課題を客観的に見つめ直すことができる。

看護を担う一員となる自覚と責任感を促す。

学校側が、教育内容や指導方法などを見直し、教育活動の充実を図る。

方法：2年生終了時、15の項目についてアンケート形式で行った。

4段階評価 （4. 非常に当てはまる 3. まあまあ当てはまる 2. あまり当てはまらない
1. 全く当てはまらない）

		R6年3月 卒業生	R7年3月 卒業生
1	教育理念・教育目的について知っているか	2.7	2.9
2	准看護師として必要な知識・技術・態度を身につけることが出来たと思うか	3.2	3.3
3	看護の対象となる人々の生命の大切さを知り、人権、人格を尊重できる人材になれたと思うか	3.6	3.5
4	看護の対象となる人々に誠実に対応し、信頼関係を築く能力を育むことが出来たと思うか	3.6	3.6
5	看護の対象となる人々及び関係する人々の守秘義務を遵守し、個人情報の保護に務めることができる人材になれたと思うか	3.5	3.6
6	指示を受けて、安全・安楽を根幹に看護できる基礎的知識・技術を修得できたと思うか	3.6	3.5
7	指示を受けて行動する准看護師の役割を自覚し、適時、的確に報告・連絡・相談することができる人材になれたと思うか	3.3	3.2
8	自己成長が看護の質の向上につながることを理解し、研鑽していく姿勢を育むことができたと思うか	3.4	3.4
9	地域社会の一員として、責任ある態度をとれる人材になれたと思うか	3.3	3.5
10	医療福祉チームの一員である准看護師として、地域に貢献する役割があることを理解できたか	3.4	3.4
11	当校に来て良かったと思うか	3.2	3.2
12	教職員は、あなたに適切に対応してくれたと思うか	3.2	3.1
13	講師は、あなたに適切に対応してくれたと思うか	3.1	3.2
14	実習指導者は、あなたに適切に対応してくれたと思うか	3	2.9
15	学校の施設・設備は教育環境として適していると思うか	2.8	3

学生による卒業時の評価

— R6年3月卒業生 — R7年3月卒業生

